

基本的施策7 健康づくり・医療

R9年度末に目指す状態

健康に関心を持つ人が増え、健康寿命が延伸している

	R5	R6	R7	R8	R9
(1)健康的な暮らしの 実践促進	No.1 健康的な暮らしの実践促進(健康課)				
	No.2 【関連】高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施(国保医療課) ※施策5「高齢者支援・障がい者支援」を参照				
	No.3 【関連】地域スポーツ推進事業(スポーツ振興課) ※施策3「こども・子育て支援」を参照				
	No.4 市内体育施設整備事業(スポーツ振興課)				
(2)いのちを守る医療提 供体制の充実	No.5 市立病院の機能強化(地域医療課)				
(3)安定的な医療保険 制度の運営	No.6 医療費の抑制(国保医療課)				

令和6年度アクションプラン 事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報			担 当 課 健康課			関 係 課 国保医療課		
事 業 名	No.	1	健康的な暮らしの実践					
事 業 区 分	継続	会 計 区 分	一般会計	予 算 費 目 款	4	項	1	目 2
施 策 体 系	7	健康づくり・医療			戦 略 的 施 策	☐	行政改革大綱	(1)
根 拠 法 令 等							事 務 区 分	自治事務
事 業 期 間	☐ 単年度(年度) ☒ 単年度繰返(年度～継続) ☐ 複数年度(年度～ 年度)							

2 事業の概要・実施内容

事業目的・事業実施効果	からだの健康の増進やこころの健康の維持・向上に資する取組を行うことで、健康に関心を持つ人を増やし、すべての市民の健康寿命の延伸につなげる。		
事業概要 (全体計画)	(1)からだの健康の増進：(第3期健康いこま21・第4期食育推進計画)に基づき、課題に応じた取組を実施) (2)こころの健康の維持向上(自殺対策計画)に基づき、課題に応じた取組を実施)		
	事業の対象	市民	(対象数： 全市民)
決算年度の 主な取組	当初計画		取組実績
	(1)健康いこま21、生駒市食育推進計画を策定。 10,297千円(謝礼878千円、委託料8,797千円 その他622千円) (2)若年者層(40歳～69歳)のがん検診受診啓発のため、受診券送付対象者の範囲を拡大し、受診率の向上を図る。 6,034千円(印刷製本費2,055千円、郵送料3,596千円、封入封緘費383千円) (3)上記事業概要に記載する継続事業 111,803千円		(1)昨年度に実施した食生活や健康に関するアンケート調査や今年度8月に実施したオンラインプラットフォーム「Liqid」による意識調査、健康増進計画策定懇話会や食育ラウンドテーブルでの意見聴取などを活用し、本市の課題を見直し第3期健康いこま21及び第4期生駒市食育推進計画を策定した。 9,420千円見込(謝礼：535千円、委託料：8,184千円、その他：701千円) (2)受診券送付対象者の範囲を拡大した結果、昨年度と比べ、がん検診の延べ受診者数が、15,202人(R5年度)から12.9%増加し17,160人(R6年度暫定値)となった。 5,686千円見込(印刷製本費2,055千円、郵送料3,281千円、封入封緘費350千円) (3)上記事業概要に記載する継続事業を実施した。 98,842千円見込
	事業実施手法 ☒ 直接実施 ☒ 委託・指定管理 ☒ 負担金・補助金 ☐ その他 ()		

3 事業費・財源内訳

	R5決算	R6予算現額	R6決算(見込)	R7予算
事業費(千円)	89,408	128,134	113,948	127,252
12委託料	75,701	105,123	94,189	103,452
14工事請負費	0	0	0	0
18負担金補助及び交付金	140	1,500	1,260	2,000
その他	13,567	21,511	18,499	21,800
財源(千円)	89,408	128,134	113,948	127,252
特定財源	3,040	5,864	4,788	6,231
市債	0	0	0	0
その他	16,397	21,353	18,250	22,006
一般財源	69,971	100,917	90,910	99,015

4 事業の成果・評価

「めざす状態」実現に寄与したこと(事業の成果)	健康いこま21及び食育推進計画を策定し、施策の方向性を明確化した。また、がん検診の受診券送付対象者の範囲を拡大した結果、受診者数が増加した。	
KPI	指標1	
指標名(単位)	がん検診受診率全住民比率(%)	
目標値	胃(バリウム)5.9 胃(内視鏡)2.6 肺4.1 大腸7.9 乳11.9 子宮13.4 (R4年度実績+0.4%)	
実績値	胃(バリウム)2.8 胃(内視鏡)1.5 肺3.8 大腸7.8 乳11.7 子宮13.8 (R6年度暫定値)	
目標値と実績値の差分についての理由	令和6年度実績値は、暫定値であるため	
行革評価(行政改革大綱に基づく評価)		
コスト意識 (費用対効果・財源確保)	評価	評価した根拠・理由
	B	国の補助金を活用し、受診券送付対象者の範囲を拡大し、延べ受診者数が12.9%増加(昨年度比)となった。特に、がん検診の受診率の向上の取組は、がんの重症化を防ぎ、早期発見・早期治療につながるため、将来的な医療費の削減効果が見込まれる。
目的思考 (施策目標への寄与)	評価	評価した根拠・理由
	B	からだの健康の増進の取組の基礎となる第3期健康いこま21と第4期生駒市食育推進計画では、健康寿命の延伸を目的に掲げ、総合計画との整合性を図っている。
多様な主体との協創 (市民等への意見把握・民間活力等の活用)	評価	評価した根拠・理由
	B	計画策定にあたっては、関係団体等に参加いただいた懇話会を開催するとともに、オンラインプラットフォーム「Liqli d」、食育ラウンドテーブルを活用するなど市民から広く意見をいただいた。
デジタル・データ活用 (デジタルの活用・EBPM)	評価	評価した根拠・理由
	B	集団がん検診の申込、がん検診受診券の発行・再発行を電子申込できる環境を整備した。また、オンライン禁煙支援事業というスマートフォンやインターネット環境上で禁煙に取り組むことができる事業を実施した。
総合評価	評価	評価した根拠・理由
	C	KPI指標の改善はみられるが、目標値には達してはいないため
事業実施上の課題・残された課題	指標の改善と事業目的の改善のためには、より多くの市民の健康意識を向上させる必要があり、さまざまな手段を用いた周知啓発を行う必要がある。	
今後の取組方針	拡大	判断理由 R6年度に策定した第三期健康いこま21、第四期生駒市食育推進計画に記載された取組を具体化し、健康寿命の延伸のために効果的な事業を継続的に実施する必要がある。

令和6年度アクションプラン 事業評価シート

1 基本情報			担 当 課	スポーツ振興課	関 係 課	施設マネジメント課等			
事 業 名	No.	4	市内体育施設整備事業						
事 業 区 分	継続	会 計 区 分	一般会計	予 算 費 目 款	8	項	5	目	2
施 策 体 系	7	健康づくり・医療			戦 略 的 施 策	☐	行政改革大綱	3	
根 拠 法 令 等	スポーツ基本法、第2期生駒市スポーツ推進計画						事 務 区 分	自治事務	
事 業 期 間	☐ 単年度(年度) ☒ 単年度繰返(年度～継続) ☐ 複数年度(年度～ 年度)								

2 事業の概要・実施内容

事業目的・事業実施効果	施設の整備を計画的に行い、今後の方向性を定めることで、整備に係るトータルコストの縮減等を図るとともに施設をより長く安全に使用することができる。		
事業概要 (全体計画)	誰もが安心・安全に利用できる施設とするため、トイレの洋式化や老朽化した市内体育施設を適切に維持管理し、施設利用者の安心と安全を確保する。また、各スポーツ施設の整備が必要となる時期や整備内容、長寿命化を含む整備経費を明らかにし、今後の施設の全体的なあり方を検討するため、スポーツ施設整備等に伴う調査を実施し、調査結果を基に、各種整備工事を実施する。		
	あ	(対象数:)	
決算年度の 主な取組	当初計画		取組実績
	▶ 北大和体育館トイレ改修工事 30,305千円 ▶ 市民体育館受水槽更新工事 26,378千円 ▶ 生駒北S.C.管理棟屋上防水改修工事 11,055千円 ▶ スポーツ施設整備等計画策定業務 9,900千円 【R5補正(繰越分)】 ▶ 北大和体育館非構造部材及び照明LED改修 14,829千円 【R6補正(繰越)】 ▶ むかいやま体育館 非構造部材及び照明LED改修工事 (25,917千円繰越)		▶ 北大和体育館 トイレ改修工事 19,834千円 ▶ 市民体育館受水槽更新工事 23,988千円 ▶ 生駒北S.C.管理棟屋上防水改修工事 12,158千円 ▶ スポーツ施設整備等に伴う調査業務 9,482千円 【R5補正(繰越分)】 ▶ 北大和体育館 非構造部材及び照明LED改修 12,341千円 【R6補正(繰越)】 ▶ むかいやま体育館 非構造部材及び照明LED改修工事 (25,917千円繰越)
	事業実施手法 ☒ 直接実施 ☐ 委託・指定管理 ☐ 負担金・補助金 ☐ その他 ()		

3 事業費・財源内訳

	R5決算	R6予算現額	R6決算(見込)	R7予算
事業費(千円)	118,053	118,384	77,803	72,351
12委託料		9,900	9,482	17,916
14工事請負費	118,053	108,484	68,321	54,435
18負担金補助及び交付金				
その他				
財源(千円)	118,053	118,384	77,803	72,351
特定財源	23,788	51,015	40,277	12,811
市債	58,500	57,300	27,968	46,200
その他				
一般財源	35,765	10,069	9,558	13,340

4 事業の成果・評価

「めざす状態」実現に寄与したこと(事業の成果)	一部の事業を除き、年度内に完了し、施設利用者の安心・安全を確保することができた。		
KPI	指標1		指標2
指標名(単位)			
目標値			
実績値			
目標値と実績値の差分についての理由			
行革評価(行政改革大綱に基づく評価)			
コスト意識 (費用対効果・財源確保)	評価	評価した根拠・理由	
	B	随意契約になるものについては見積合わせを、それ以外は入札による執行で、予算額より費用を抑えることができた。	
	評価	評価した根拠・理由	
	A	事業を進めるうえで、実施時期等を施設をはじめ関係部署と協議を重ねて行い、齟齬が生じないよう務めた。	
	評価	評価した根拠・理由	
多様な主体との協創 (市民等への意見把握・民間活力等の活用)	B	事業を進めるうえで、施設でのモニタリング等の意見を踏まえ、施設の管理運営を行う指定管理者等との協議を進めた。	
	評価	評価した根拠・理由	
デジタル・データ活用 (デジタルの活用・EBPM)	—	業務効率化のため、今後いずれかの段階で取り入れることができるかどうか検討していく。	
	評価	評価した根拠・理由	
総合評価	B	殆どの事業については、予定通り今年度内に事業完了し、一部の事業においても繰越等で工期延長し、対応していくことで、予算計上した事業は着実に進めることができた。	
事業実施上の課題・残された課題	予算化した以外のことでの予期せぬ修繕等が多く、利用者の方に影響を少なくするため、今後予防的保全の観点からも進めていく必要が急務である。		
今後の取組方針	現状維持	判断理由	
		今後も指定管理者等との連携を行い、施設の適切な維持管理を行っていく。	

令和6年度アクションプラン 事業評価シート

1 基本情報		担 当 課		地域医療課		関 係 課		障がい福祉課、健康課		
事業名	No.	5	市立病院の機能強化							
事業区分	継続	会計区分	一般会計	予算費目	款	4	項	1	目	1
施策体系	7	健康づくり・医療			戦略的施策	☐	行政改革大綱		(1)	
根拠法令等							事務区分	自治事務		
事業期間	☐ 単年度(年度) ☐ 単年度繰返(年度～継続) ☒ 複数年(令和5 年度～ 令和8 年度)									

2 事業の概要・実施内容

事業目的・事業実施効果	持続可能な地域医療提供体制を確保することを目的とする。		
事業概要 (全体計画)	①周産期医療及び小児医療の連携を強化し、分娩から新生児・乳幼児までの母子医療体制を整備する。 ②発達障がい児支援について、市立病院と市、発達支援機関との連携体制を構築する。		
	事業の対象 市民 (対象数:)		
	当初計画 ◇市立病院における乳幼児の定期健診の実施 ◇発達障がい支援における、必要な医療従事者の人員体制・予算を確保 ワークショップ運営支援委託料 (執行残活用 3,053千円)	取組実績 ①市立病院における乳幼児の定期健診の受入れを開始した。 ②市民・医療介護従事者・市立病院職員の参画を得て、市立病院のこれからを考えるワークショップを実施し、市立病院がこれから取り組むべき課題について検討を進めることができた。 ワークショップ運営支援委託料 3,053千円	
決算年度の主な取組			
事業実施手法	☒ 直接実施 ☒ 委託・指定管理 ☒ 負担金・補助金 ☐ その他 ()		

3 事業費・財源内訳

	R5決算	R6予算現額	R6決算(見込)	R7予算
事業費(千円)	0	3,053	3,053	0
12委託料		3,053	3,053	0
14工事請負費		0	0	0
18負担金補助及び交付金		0	0	0
その他		0	0	0
財源(千円)	0	3,053	3,053	0
特定財源		0	0	0
市債		0	0	0
その他		0	0	0
一般財源		3,053	3,053	0

4 事業の成果・評価

「めざす状態」実現に寄与したこと(事業の成果)	病院の運営にあたる指定管理者と本事業の実施に向けて入念な協議を実施した。		
KPI	指標1		指標2
	指標名(単位)	—	
	目標値	—	
	実績値	—	
	目標値と実績値の差分についての理由	—	
行革評価(行政改革大綱に基づく評価)			
コスト意識 (費用対効果・財源確保)	評価	評価した根拠・理由	
	B	ワークショップの開催にあたっては業務内容を精査し費用縮減に努めた。	
	評価	評価した根拠・理由	
	B	令和7年度に予定している生駒市病院事業計画改定に反映できるよう意見集約に努めた。	
	多様な主体との協創 (市民等への意見把握・民間活力等の活用)	評価	評価した根拠・理由
B	シンポジウムやワークショップ等様々な機会を通じて市民、市立病院、市内医療介護従事者の意見をで取り入れるよう努めた。		
デジタル・データ活用 (デジタルの活用・EBPM)	評価	評価した根拠・理由	
B	デジタルアンケートを活用し、広く意見集約の機会を設けた。		
総合評価	評価	評価した根拠・理由	
B	生駒市立病院開院10周年を迎えるにあたり、生駒市立病院が今後果たすべき役割について、その方向性を検討することができた。		
事業実施上の課題・残された課題	令和6年度に20床の増床が認められたことから、市医師会・市内医療機関とも連携し、市立病院が市内で果たすべき役割について整理していく必要がある。		
今後の取組方針	現状維持	判断理由 引き続き地域の中核的医療機関として市内の医療提供体制の継続に尽力する必要があると考えるため。 病院事業計画を令和7年度に見直しすることとしたことから、事業目的等についてはそこに盛り込むことになるため。	

令和6年度アクションプラン 事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報				担 当 課 国保医療課			関 係 課			
事 業 名	No.	6	医療費の抑制							
事 業 区 分	継続	会 計 区 分	一般会計	予 算 費 目	款	5	項	1	目	1
施 策 体 系	7	健康づくり・医療			戦 略 的 施 策		☐	行政改革大綱		(1)
根 拠 法 令 等	高齢者の医療の確保に関する法律第19条 国民健康保険法第82条第1項						事 務 区 分		自治事務	
事 業 期 間	☐ 単年度(年度) ☒ 単年度繰返(H20 年度～継続) ☐ 複数年度(年度～ 年度)									

2 事業の概要・実施内容

事業目的・事業実施効果	自分自身の健康に対する関心を深め意識することで、適正受診等につなぎ、年々増え続けている一人当たりの医療費を抑制することができる。				
事業概要 (全体計画)	医療費を抑制することで、国民健康保険制度が安定的に運営され、誰もが安心して医療を受けることができるように				
	事業の対象	国民健康保険被保険者			(対象数： 約16,000人)
決算年度の 主な取組	当初計画		取組実績		
	医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知の発送(国保連合会) ○特定健康診査・特定保健指導 人件費 12,395千円 需用費(消耗品費・印刷製本費) 2,226千円(流用-34千円) 役務費(通信運搬費)3,682千円 委託料 85,540千円+(臨)264千円 使用料及び賃借料(施設・システム使用料)2,081千円 負担金 3,364千円 備品購入費(臨) 流用 34千円		医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知の発送(国保連合会) ○特定健康診査・特定保健指導 人件費 12,395千円 需用費(消耗品費・印刷製本費) 1,534千円 役務費(通信運搬費)1,799千円 委託料 71,611千円+(臨)264千円 使用料及び賃借料(施設・システム使用料)1,812千円 負担金 3,075千円 備品購入費(臨) 34千円		
	事業実施手法	☒ 直接実施	☒ 委託・指定管理	☒ 負担金・補助金	☐ その他 ()

3 事業費・財源内訳

	R5決算	R6予算現額	R6決算(見込)	R7予算
事業費(千円)	90,473	109,552	92,524	109,474
12委託料	70,092	85,804	71,875	83,304
14工事請負費				
18負担金補助及び交付金	3,291	3,364	3,075	3,142
その他	17,090	20,384	17,574	23,028
財源(千円)	90,473	109,552	92,524	109,474
特定財源	38,803	54,471	46,116	48,365
市債				
その他				
一般財源	51,670	55,081	46,408	61,109

4 事業の成果・評価

「めざす状態」実現に寄与したこと(事業の成果)	令和5年度から健診受診料を無償化したことや様々な受診勧奨で、受診傾向の高い高齢世代が後期高齢へ移行している状況でも、僅かではあるが受診率の増傾向を維持している。		
KPI	指標1		指標2
指標名(単位)	特定健康診査受診率		
目標値	40%		
実績値	35%(R7.2月末時点)		
目標値と実績値の差分についての理由	受診期間は2月末までだが、結果が市に届くまでは最短でも2ヶ月かかるため。		
行革評価(行政改革大綱に基づく評価)			
コスト意識 (費用対効果・財源確保)	評価	評価した根拠・理由	
	B	全対象者に通知を送り、必要な受診勧奨も行った。また交付金申請も適正に行った。	
目的思考 (施策目標への寄与)	評価	評価した根拠・理由	
	B	国保連合会と連携しながら、勧奨対象者の抽出や受診継続意欲を促す対策を実施した。	
多様な主体との協創 (市民等への意見把握・民間活力等の活用)	評価	評価した根拠・理由	
	B	医師会等との連携により、医療機関における受診勧奨も実施した。	
デジタル・データ活用 (デジタルの活用・EBPM)	評価	評価した根拠・理由	
	B	これまでの受診履歴や健診結果データを活用し、受診意欲を上げるための対策を実施した。	
総合評価	評価	評価した根拠・理由	
	B	対象者を適切に抽出し、様々な受診勧奨を実施し、適正な交付金申請も行った。	
事業実施上の課題・残された課題	受診料無償化や受診勧奨に努めているが、若年層の受診率が横ばいで中々伸びない。		
今後の取組方針	現状維持	判断理由	
		特定健康診査の対象者年齢が40歳から74歳と限定されており、対象拡大の予定が無いため。	